

東京大学大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センター研究集会

北太平洋を中心とする循環と水塊過程

日 時： 平成26年8月26日(火) 10:00~17:30
8月27日(水) 9:00~12:00

場 所： 大槌町中央公民館
〒028-1121 岩手県上閉伊郡大槌町小鎗第32地割金崎126
TEL 0193-42-3030

研究代表者： 豊田隆寛(気象庁気象研究所)、田中潔(東京大学大気海洋研究所)
TEL 029-853-8661 FAX 029-855-1439 E-MAIL ttoyoda@mri-jma.go.jp

共 催： 海洋気象学会

プログラム

(*: 招待講演)

8月26日(火)

10:00-10:10 趣旨説明、事務連絡

Session 1 海面・混合層水温、サブダクション <座長：岡英太郎(東大)>

10:10-10:20 中村 直希 (東北大学大学院 理学研究科)
「北太平洋におけるサブダクションと低渦位の関係」

10:20-10:30 山口 凌平 (東北大学大学院 理学研究科)
「熱帯太平洋中央部における海面水温の長周期変動」

10:30-10:55 齊藤 和幸 (気象庁 仙台管区気象台) *
「「海洋の健康診断表」について」

10:55-11:20 松野 哲季 (東海大学大学院 海洋学研究科)、
植原 量行 (東海大海洋) *
「太陽黒点数変動と海面水温場」

11:20-11:45 川上 雄真 (東北大学大学院 理学研究科) *
「北太平洋中央モード水の形成変動」

11:45-12:05 長船 哲史 (海洋研究開発機構 地球環境観測研究開発センター) *
「四次元変分法海洋環境再現データ ESTOC を用いた海洋表中層研究」

Session 2 大槌湾、サブメソスケール変動 <座長：豊田隆寛(気象研)>

13:00-13:10 轡田 邦夫 (東海大学 海洋学部)、乙部 弘隆 *
「過去の大槌センターにおける海象気象観測結果の紹介」

13:10-13:35 坂本 天 (東京大学 大気海洋研究所) *
「大槌湾の数値モデリング」

- 13:35-14:00 伊藤 大樹 (東北大学大学院 理学研究科) *
「中規模現象に伴うサブメソスケール擾乱」
- 14:00-14:25 佐々木 英治 (海洋研究開発機構 アプリケーションラボ) *
「黒潮続流域のサブメソスケールの季節変動とスケール間相互作用」

Session 3 続流、中規模渦 <座長:杉本周作(東北大)>

- 14:30-14:55 植原 量行 (東海大学 海洋学部)、岡 英太郎 (東大気海洋研)
根田 昌典 (京大院理)、轡田 邦夫 (東海大海洋) *
「歳冬期黒潮続流南側海域における大気海洋定点時系列観測」
- 14:55-15:20 加藤 彩愛 (東海大学大学院 海洋学研究科)
植原 量行 (東海大海洋)、笹井 義一 (JAMSTEC) *
「物理-海洋生態系モデルによる中規模渦と栄養塩動態」
- 15:20-15:45 金子 仁 (東京大学 大気海洋研究所) *
「2013年の釧路沖高気圧渦の構造とその変化」

Session 4 海面・表層塩分 <座長:野中正見(JAMSTEC)>

- 15:50-16:10 豊田 隆寛 (気象庁 気象研究所)
「Aquarius 衛星海面塩分データの全球海洋再解析へのインパクト」
- 16:10-16:35 桂 将太 (東京大学大学院 理学系研究科) *
「太平洋亜熱帯域におけるバリエーションの形成メカニズム」
- 16:35-17:00 北村 知之 (気象庁 地球環境・海洋部) *
「全球海洋表層塩分の長期変動について」

After session

- 17:00-17:30 総合討論 (時間調整、後片付け)
- 18:30- 海洋パート懇親会 (さんずる屋)

8月27日(水)

- 9:00-9:10 事務連絡

Session 5 ジャイアスケール変動 <座長:長船哲史(JAMSTEC)>

- 9:10-9:35 亀田 傑 (東海大学大学院 地球環境科学研究科) *
「衛星観測による北太平洋における海上風応力回転場の長期変動の解析」
- 9:35-10:00 美山 透 (海洋研究開発機構 アプリケーションラボ) *
「JCOPE2 再解析で見た亜熱帯から亜寒帯への子午面輸送」
- 10:00-10:25 柏井 誠 (水産海洋研究工房『親潮屋』) *
「北太平洋中層水は北太平洋の深層循環に関与しているか?」
- 10:25-10:50 野中 正見 (海洋研究開発機構 アプリケーションラボ) *
「北太平洋夏季海面水温変動と表層下の変動との関係」

After session

- 10:50-12:00 総合討論 (写真撮影、後片付け)

東京大学大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センター研究集会

中緯度気象・気候研究の現状と展望

日 時： 平成26年8月27日(水) 12:00~17:00

8月28日(木) 9:00~12:00

場 所： 大槌町中央公民館

〒028-1121 岩手県上閉伊郡大槌町小槌第32地割金崎126

TEL 0193-42-3030

研究代表者： 吉田 聡 (海洋研究開発機構アプリケーションラボ)

連絡先 TEL: 045-778-5866、FAX: 045-778-5492

e-mail: akiray@jamstec.go.jp

プログラム

8月27日(水)

12:00-12:05 趣旨説明、事務連絡

セッション1 特別講演、台風(座長:山崎 哲)

12:05-12:55 佐藤 克文(東京大学 大気海洋研究所)*

「海洋高次捕食動物をプラットフォームとした三陸沿岸環境監視システム構築」

米原善成(東京大学 農学生命科学研究科)*

「海鳥を用いた海上の風環境推定」

12:55-13:15 三上 侑子(弘前大学 大学院理工学研究科)

「西表島でゾンデ観測された台風1304号の解析」

13:15-13:40 和田 章義(気象研究所台風研究部)*

「台風予測に対する大気海洋相互作用及び境界層過程の役割」

13:40-13:50 休憩

セッション2 降雪、降水、データ同化(座長:釜江 陽一)

13:50-14:10 松本 直也(三重大学 大学院生物資源学研究科)

「三重県北部の風と降雪分布はその下流の伊勢湾が作用するのか?」

14:10-14:35 荒木 健太郎(気象研究所)*

「2014年2月の関東甲信地方大雪の観測研究」

14:35-14:55 木村 祐輔(新潟大学 大学院自然科学研究科)

「冬季佐渡島周辺における降水分布の特徴」

14:55-15:20 三好 建正 (理化学研究所 計算科学研究機構) *
「ビッグデータ同化」

ポスターセッション

15:20-16:50 緒方 香都 (三重大学 大学院生物資源学研究科)
「南極周辺の海氷が大気循環に与える影響」
釜江 陽一 (国立環境研究所)
「中緯度陸上の猛暑頻度増加に対する人為的な寄与と海洋の影響」
西川 はつみ (三重大学 大学院生物資源学研究科)
「3 隻同時観測で捉えられた黒潮続流域の霧 大気海洋相互作用」
升永 竜介 (東京大学 先端科学技術研究センター)
「黒潮・親潮続流域における水温前線が大気境界層に及ぼす影響」
田中 翔 (東京大学 先端科学技術研究センター)
「北太平洋のテレコネクションパターン維持過程における中緯度海洋の役割」
岡島 悟 (東京大学 先端科学技術研究センター)
「北太平洋中緯度における水温偏差による大規模大気循環強制の可能性」
安藤 雄太 (三重大学 大学院生物資源学研究科)
「大気循環と日本周辺の SST が日本の気候に与える影響」
万田 敦昌 (長崎大学)
「東シナ海の海面水温が梅雨末期の集中豪雨に及ぼす影響について」
津口 裕茂 (気象研究所)
「2013 年 8 月 9 日の秋田・岩手県の大雨 -下層暖湿気塊の維持過程について」
本田 匠 (九州大学)
「ビデオゾンデ観測データを用いた雲微物理パラメタリゼーションの性能評価」
中井 専人 (防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター)
「降雪粒子の多様性と偏波レーダー観測」
本田 明治 (新潟大学)
「2014 年 2 月 14~16 日の関東甲信地方に大雪をもたらした大気場の特徴」
山崎 哲 (海洋研究開発機構)
「大気ブロッキングによる冬季関東での異常気象: 2014 年 2 月の事例」
栃本 英伍 (東京大学 大気海洋研究所)
「竜巻大発生を伴う温帯低気圧構造と環境場」
川野 哲也 (九州大学)
「2013 年 3 月 2 日道東地方に暴風雪被害をもたらした爆弾低気圧の数値シミュレーション」
平田 英隆 (九州大学)
「非静力学大気海洋結合モデル CReSS-NHOES による爆弾低気圧の再現実験」
吉田 聡 (海洋研究開発機構)
「渦解像海洋シミュレーションにおける爆弾低気圧の海洋への影響」

16:50-17:00 総合討論

8月28日(木)

セッション3 大気海洋相互作用(座長: 栃本 英伍)

- 09:00-09:20 佐藤 笑(弘前大学 大学院理工学研究科)
「東シナ海の黒潮付近で5月に観測された霧の発生要因」
- 09:20-09:45 川合 秀明(気象研究所)*
「中緯度の海洋下層雲の鉛直構造」
- 09:45-10:05 星 一平(新潟大学 大学院自然科学研究科)
「北半球海氷域変動における大気循環場への影響」
- 10:05-10:30 西井 和晃(東京大学 先端科学研究センター)*
「亜寒帯ジェットと海洋前線帯」

10:30~10:40 休憩

セッション4 気候変動(座長: 津口 裕茂)

- 10:40-11:00 畠山 光(新潟大学 大学院自然科学研究科)
「近年の日本における降雪分布と上空気温場の関係」
- 11:00-11:25 望月 崇(海洋研究開発機構)*
「近未来気候変動予測への最近の取り組み」
- 11:25-11:45 鈴木 はるか(三重大学 大学院生物資源学研究科)
「近年の北極振動の増幅と変調」
- 11:45-12:00 総合討論

(*: 招待講演 25分、一般講演 20分)